

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和6年8月5日(2024.8.5)

【公開番号】特開2023-19045(P2023-19045A)

【公開日】令和5年2月9日(2023.2.9)

【年通号数】公開公報(特許)2023-026

【出願番号】特願2021-123507(P2021-123507)

【国際特許分類】

G 03 G 15/20(2006.01)

10

【F I】

G 03 G 15/20 515

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月26日(2024.7.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも、

円筒状基体と、

前記円筒状基体の外周面に形成された弹性層と、

前記弹性層の外周面に形成された離型層と

を有し、

前記離型層が

フッ素樹脂からなり、

X線回折法による配向度が40%以上59%以下であり、

30

かつ170°Cにおける膜厚方向の熱拡散率が $5.9 \times 10^{-8} \text{ m}^2/\text{s}$ 以上であることを特徴とする定着フィルム。

【請求項2】

前記離型層のフッ素樹脂が四フッ化エチレン・パーフロロアルキルビニルエーテル共重合体樹脂(PFA)からなる

ことを特徴とする請求項1に記載の定着フィルム。

【請求項3】

前記離型層としてのPFAが押出成形により製造されたPFAチューブであることを特徴とする請求項1乃至2に記載の定着フィルム。

【請求項4】

前記定着フィルムは、記録材に転写されたトナー像を加熱により定着させる定着装置の構成部材であり、

前記離型層は、片面に画像形成する際の前記記録材におけるトナー像形成面と接触することを特徴とする請求項1に記載の定着フィルム。

【請求項5】

請求項1乃至4に記載の定着フィルムを有することを特徴とする加熱定着装置。

40

50